

グループホーム青葉の里

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目） 取り組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	18	
理念に基づく運営	1		理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)	自己評価3項目・外部評価2項目	2	
		1 外部 評価 1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	住み慣れた地域で皆と共にゆっくり、楽しく、自分らしく。を理念に日々のサービスを提供しています。	0	
		2 外部 評価 2	理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	GH理念に基づき、管理者と職員は可能な限り地域のなかで暮らしていける様、GHの意義を確認し入居者の自立支援について理解し日々実践にとりくんでいる。	1	職員研修の充実を図り、理念をしっかりと伝え共有し実践につなげていきたい。
		3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	入居時、家族にはGHの思いは説明している。理解等は運営推進会議、年1回の家族会を通し認知症の入居者が地域で暮らしていける様理解をして貰えるよう思いを伝えている。	1	会報誌、面会時、運営推進会議等でお話し理解を深めていく。
		2	地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)	自己評価3項目・外部評価1項目	3	
		4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	隣近所への声掛けは、常に心がけてきている時々GHに訪問され入居者の方と話をしてくれたりカラオケをしてくれたり声かけあっている。	1	今後も同様気軽に声かけ、声かけられる関係を維持していきたい。
	5 外部 評価 3	地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会へ加入している・活動への参加は入居者のレベル低下に伴い難しくなっている。又近隣の公園の清掃も無くなりとうくなり更に難しくなった。	1	参加出来るものへ参加を積極的に行いたい。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支地域 合との	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	運営推進会議を通じ認知症に対する理解、家族の思い等話してもらい理解を深めている。	1	事業所の行事等に声かけ参加してもらい気軽に相談したりされたりできるよう努める。
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	4	
	3 理念を 実践す るため の制度 の理解 と活用	7 外部 評価 4	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価を実施することであらためて意義を理解し改善に取り組んでいる。	1	忘れかけている事でも更に外部評価を経てサービスの質の向上を目指したい。
		8 外部 評価 5	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	行政、地域住民代表、隣近所の住民、家族の方、入居者の参加、質疑応答、意見交換、行事報告等を行いサービス向上に生かしている。	1	2ヶ月に一回金曜日、10:30~1時間の予定で今後も行っていく。
		9 外部 評価 6	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	いきいきセンター《地域包括》に毎回参加していただき情報交換、相談行いサービスの質の向上に取り組んでいる。	0	
		10 外部 評価 7	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現在、権利擁護事業や成年後見制度を利用している人はいないが今後のことも考え研修に参加し、職員が学ぶ機会を持ち支援したい。	1	研修により職員のスキルアップを図りたい。
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	社員研修に於いて、虐待防止研修を行い防止に努めている。	1	職員研修通じ考える時間を提供したい。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	4	
理念に基づく運営	4 理念を 実践す るため の体制	12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居契約結ぶ際重要事項などご家族の不安がない様十分説明行っている。疑問点、不安事項にはその都度説明し納得して頂ける様に努めている。	0	
		13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱設置し、意見、不満、苦情、は投函出来る様な仕組みを作っている。又その都度傾聴しミーティング等に於いて改善に努め、運営に反映出来る様努めている。	1	利用者の思い、したいこと等聞き取りし希望に望みたい。
		14 外部 評価 8	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	新聞「ふうせん」で活動報告や入居者の生活振りを報告。又面会時、現況報告、健康状態を伝えている。金銭管理は個人出納帳で管理し使途、残金の確認をしてもらっている。	0	
		15 外部 評価 9	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会、運営推進会議、面会時等、意見や、不満等言っていたくようにはなしている。ある場合管理者や職員で情報共有し改善に取り組んでいる。	1	居室担当があり職員もその都度家族とコミュニケーション取る様更に取り組んでいく。
		16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見、提案は聞いてもらっている。年1回のヒアリングがある。	1	スタッフの意見、提案が出せる雰囲気、環境を作りそれぞれのレベルアップに努める。
		17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	シフトの調整は家族の状況で左右されることはないが、夜間、救急時の対応や状況の変化に柔軟に対応出来る様努めている。勤務可能か否かを確認し変更行っている。	1	今後も柔軟な勤務体制に努めていく。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に 基づく 運営	4	18	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている		0	
	5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)		自己評価6項目・外部評価4項目	5	
	5	19	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	職員の募集、採用にあたっては、性別、年齢を理由に採用対象を排除しないようにしている。又自己の能力が發揮できるサービスの向上に繋がる様配慮している。	1	職員の声を聞き、実現出来る様今後も努める。
		20	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	入居者に対する言葉使い、傾聴、見守りを厳守していくよう啓発している。	1	職員に対する人権教育を継続していく。
		21	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内外の研修に出席でき、サービスの質の向上に繋がる様配慮し勤務調整行っている。	0	
		22	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他、グループホームや施設との交流を出来る限り行っている。	1	介護サービス、技術等交流機会に取り組んでいきたい。
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	適宜、個人面談を行い、ストレス解消に努めている。休憩場所が無い為、落ち着いて球形が取れないときがある。	1	休憩時間の確保が出来る様努めていきたい。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人材 支援の 育成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	運営者は管理者を通じ個々の努力、実績、勤務状況を報告している。	1	ミーティングに参加してもらい状況把握や意見交換を行っている。
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2(自己 25～34・外部 15～16)				自己評価10項目・外部評価2項目	5	
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)		自己評価4項目・外部評価1項目	3	
		25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居に際しての相談殆んど家族からのものである性質上、本人様より家族からの意見が多いが本人様が困っていること、不安な事、求めている事を個別に病院、施設に出向き聞き取りを行い要望に努めている。	1	本人の訴え、サインを見逃さないよう取り組んでいく。
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用開始までには家族、本人(動ける方)に見学を促し、困っている事などの相談に応じ、その後本人面談しご家族の思いに沿えるよう心掛けている。	1	入居に対する思いに配慮するよう努めている。
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	「その時」まず何が必要かアドバイスを含め包括支援センター、介護保険申請等の支援事業所情報等状況にあったサービスの利用、選択出来る様支援している。	0	
		28 外部 評価 15	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	体験利用等可能であれば進め。本人、家族の不安を取り除く声かけしGHの雰囲気になじめる様に職員が対応している。信頼関係構築していく中で徐々にサービス提供していく。	1	個々に応じた関わりに重点を置きサービスに努める。
		2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)		自己評価6項目・外部評価1項目	2	
	29 外部 評価 16	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人のその日の状況、訴えに応じ対応出来ている、家族同様生活していく中で教えられる事、学ぶ事が多くあり、時折感情づつけられる事もあるが、すぐ、仲直りしている。施設全体喜怒哀楽を共にしている。	1	職員1人が悪者にならないよう全員でフォローしている。今後も同様である。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	親一人子一人の家族も多々ある、家族介護負担軽減に努め無理のない範囲で入居者が安心できる配慮と共に家族と一緒に本人を支えていく関係を継続していく。	0	
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	それぞれの家族関係があり、その背景をふまえ、行事のこえ掛け、日常生活のなかでの散歩等に参加協力を努め、更に、家族との報告連絡、相談を行っている。	1	行事、外食時などに声掛け積極的な参加を促し双方から支援する関係に努める。
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ホームに入所する前の地域の友人の来所、一緒にお茶飲んだり、継続が出来るよう、家族にもこえ掛けし、今後も継続していく。	0	
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	入居者同士の関係は重視し、お互い支えあえる様信頼関係を構築し場面の設定に心がけている。	0	
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービス利用解約後も、気軽に相談が出来るよう声かけし、時には電話等で近況確認したり、相談に応じる体制に努めている。	0	
		その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価 17項目・外部評価 6項目
	1	一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)		自己評価 3項目・外部評価 1項目	2	
	1	35 外部評価 17	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの思い、希望を聞き本人の意向を大事にし、無理の無い生活の支援し、心地よく、又困難時はその都度意向を確認し対応している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居者の生活環境が一変しているため本人からのヒアリング家族からの話を多々さん聞けるよう、生活歴の把握に努めている。	1	入居者とのコミュニケーションをもっと取れるよう努めたい。
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一日の過ごし方、出来る事は自分で、指示や見守りがあれば日常生活は自立できる。無理なく過ごせるよう支援行っている。	1	他の入居者と自分は違うという意識がある。その為スタッフとのかわりを求められるので対応に心掛けていく。
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価3項目・外部評価2項目	1		
	2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	38 外部評価18	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご家族には面会時等に、要望を聞き本人の状況、体調の変化、活動性の変化など、スタッフとの意見を聞いて作成にあたっている。	0	
		39 外部評価19	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の作成は入居時とは、多少違う、その時の現状に即した見直しをおこなったケアプランを作成している。	0	
		40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	入居者様の日々様子を見守りながら記録し、スタッフ間の情報共有し、ケアの実践に生かしている。	1	個々の訴え、要望などに、出来るだけ取り込めるよう努めたい。
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	0		
	3 多機能を活かした柔軟な支援	41 外部評価20	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人の譲許、家族の体調にあわせ可能な限り、柔軟性をもった対応、家族同様の生活が過ごせる様見守りを重視し、支援を行っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42～51・外部 21～22)	自己評価10項目・外部評価2項目	2	
		42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	家族や地域住民え積極的に呼びかけをし総合理解に努めている。又ボランティアの受け入れ、消防訓練時には消防署からの指導いただき地域資源の活用も出来ている。	0	
	4		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	グループホーム協議会や管理者会議において情報を得る事が出来ている。現在は本人の意向と必要性に応じ訪問マッサージを利用している。	1	職員は交代で研修へ参加し、他サービスの利用について理解を深めるよう努めていきたい。
		44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議を通じ認知症に対する理解、家族の思い等話してもらい理解を深めている。	0	
		45	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	担当医があり、月2回の往診により本人、家族の希望を大切に事業所の関係を築き支援している。緊急時にもすぐ対応できる状態で家族も安心している。	0	
		46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	担当医が認知症に詳しい為入居者の変化等職員が相談したり、家族も同席し認知症に関する治療、屈すりの処方等相談できるよう支援している。	0	
		47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	訪問看護師、担当医の看護師と入居者の体調変化、お互い相談しながら日常の健康管理や支援し気軽に質問が出来る馴染みの関係が構築されている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院に当たっては認知症の進行防止の為、出来るだけ早期退院をお願いしている。訪問看護ステーションと連携しており、ホームでの点滴を受けたり看護を受けられる体制を整えている。	0	
		49 外部 評価 22	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化、及び看取りに関する指針を策定し本人及び家族に同意を得、終末期の希望に関する意向を確認し担当訪問看護師と話し合いを重ね情報を共有している。	1	今後の取り組みとしてかかりつけ医、訪問看護師と連携を密に取る。
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	重度化及び看取りに関する指針を策定し本人、家族に同意をとり主治医、家族と話しあい連携をとりながら支援に努めている。本人の変化に対応できる様検討している。	0	
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	GHへの入所時やGHから病院への入院など移り住み替える相手施設の情報交換、把握を十分行い、本人のダメージを最小限に防げるよう勤めている。面会、面接によりかわりをもつようになっている。	0	
		その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価 3 8 項目・外部評価 1 1 項目
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価 3 0 項目・外部評価 9 項目	6	
		(1) 一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)		自己評価 3 項目・外部評価 2 項目	2	
		52 外部 評価 23	プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	1人ひとりを大事に言葉掛けや、対応を行っている、個人情報取り扱いにも留意している	0	
		53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人の希望に沿った生活ができるよう自己決定の機会を多く提供できるように努めている。希望に添えない場合楽しみを見つたり、納得しながら生活できるよう工夫している。	1	訴えのタイミングをのがさないようにしたい。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人ペースを大切に声かけし散歩、レクリエーションと意思にまかせている。又何をして過ごしたいか傾聴し行動し支援している。	1	ゆっくり穏やかで常に笑いが絶えない日々が送れるよう、職員との信頼関係を築き更に努めたい。
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55~60・外部 25~26)	自己評価6項目・外部評価2項目	0	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	本人の好みに任せている。身だしなみについては訪問美容を利用している。あらかじめ入居者の希望聞きカットしてもらっている。	0	
		56 外部評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は作ってないが最低でも必ず月一回の手作りをしており出来る所は手伝って貰っている。また食後の下膳、お盆拭きは各自行っている。	0	
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	現在、お酒、タバコ等の嗜好はないが忘年会、お正月、等の祝い事で飲んで貰っている。また自ら要求する人はいない。また色々な飲み物はおやつ時、希望時に応じて楽しめておりおやつも提供されたものではあるが満足されている。	0	
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	日中のオムツ使用者はいない、リハビリパンツ、紙パンツ、普通の下着を使用、見守り、声掛け。誘導し気持ちよく排泄できるよう支援している。	0	
		59 外部評価 26	入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一日置きの入浴をきめているが、行事、体調の変化、外出などは合わせて楽しめるよう支援している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	消灯時間は入居者自身で決めて頂き夕食後は他の入居者に迷惑をかけない範囲でテレビ鑑賞等くつろいで過ごされる様にしている。日中も本人の希望や体調によって休養していただく、安眠できるよう工夫し支援している。	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	1	
		61 外部評価 27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者の生活力、能力を考慮し残存能力が活かせるよう支援を行っている。また散歩や外出、外食の機会を設け入居者の思考に沿って行えるよう支援している。	0	
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	物取られ妄想や、貸し借りのトラブルを防ぐ為現金は施設で預かっており、外出や外食等必要なお金使える様支援し一部の入居者自身で管理できており本人にまかせている。又小額施設でも預かっている。	0	
		63 外部評価 28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	入居者の希望に沿って近所の散歩、気候がよい時期等テラスに出でお茶したり日向ぼっこ等気分転換が図れるよう支援を行っている。	0	
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	団体での外出が難しくなっており個別(2人位)での外出を試みている。安心して買い物、飲食ができていく。今後も支援していく。	1	今後も外出、外食の際は家族にお知らせし参加の呼びかけ行っていく。
		65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人希望で、家族、友人など電話支援できている。又年賀状を書く支援も行っている。本人不穩の時もあり家族の声を聞く事で安心できるよう支援を行っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで きたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	家族、知人、友人、兄妹等本人馴染みの人達がいつでも気軽に訪問出来る様配慮し、居室にてゆっくり過ごしてもらえる様工夫している。	0		
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	0	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関するマニュアルを設置、職員全員で共有化し具体的な行為、対応策について話身体拘束にかかる行為はしないよう心掛けて取り組んでいる。	0		
		68 外部評価 29	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	防犯上、必要な時間帯や、危険防止の為やむおえず施錠することがある。	0		
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	外出したがる入居者があり、危険な為職員は常に所在や様子を確認し安全に配慮している。	0		
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	入居者の状態に応じ、異色、転倒の危険性がないか把握し、家族にも理解を求め、必要に応じ手渡しし使用時は見守りにて対応、使用後は預かり保管、管理している。危険防止に努めている。	0		
		71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故及び、ヒアリハットによる「気づき」を大事にし、リスクを繰り返さない為、スタッフ間でのその都度のカンファレンス等を行い具体策を考え、事故防止に努めている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	救命救急の講習はほぼ全員の職員が受講しミーティング等で話し復習している。	0	
		73 外部評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	昼間の戸外に出る方法は理解し活動出来ていると思われるが、夜間の状態については訓練出来ず、自治会、地域の方々とは日頃より交流深め、協力得られるよう働き掛けできている。	0	
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	一人一人におこりうるリスクについては、入居時、家族に説明し常日頃より理解求めている。対応策については家族からの意見もふまえている。	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75～81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	3	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	一人一人の体調の変化、異変、の早期発見の為毎朝のバイタルチェックや食事量、水分摂取、排泄の確認、情報の共有、対応に努めている。	0	
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の目的、用法、副作用、用量について又なにを改善する為の薬であるか情報の共有、申し送りを通じ確認し症状の変化、必要に応じ主治医への報告、相談出来る様にしている。	0	
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘がちな入居者の排便チェックを行いながら水分摂取量、飲食物の工夫を行ったり身体を動かすレク参加、散歩など実施取り組んでいる。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	清潔保持、誤嚥等の予防もあり、毎食後の口腔ケアはおこなっている。又個人の能力にあわせ支援を行い、夜間は義歯の消毒おこなっている。	1	今後も個人の能力に合わせ支援していく。	
		79	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養のバランスについては外注によるカロリー管理を組み込み、さらに糖尿の方についてはGHでも管理している。水分摂取についてはいつも摂取出来る様テーブルにコップお茶を置き摂取量少ない方については声かけしている。	1	水分摂取については、『多久さん飲むとトイレに行くから』と控える方もおり、水分摂取の必要性を説明しており今後も続けていく。	
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	外出、散歩後の手洗い、うがいは必ず行っている、感染予防マニュアルを設置、研修にも参加し更に予防に努めている。	1	毎年の研修に必ず参加する。《職員全員》	
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	年1回の害虫駆除行っている。調理器具、食器は、食器乾燥機による、毎回の消毒、食品の期限切れ等のチェック。入居者に於いては食前の手洗い、消毒行っている。	0		
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)			自己評価 8項目・外部評価 2項目	3	
	2	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)			自己評価 5項目・外部評価 2項目	2	
	2 生活環境づくり その人らしい暮らしを支える	82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周りには花壇、ウッドデッキ設置、入居者と季節の花を楽しんだり、地域の方の出入りも自由に出来る様工夫している。	1	今後も季節の花を絶やすことなく、手入れしながら取り組んでいく。	
		83	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	安全を確保しながら、トイレ、浴室ではプライバシーを守る為カーテンをつけたり、共有スペースは季節の花など飾り生活観を取り入れ雰囲気を大切にしている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用スペースに於いては自然に仲のよい入居者同志すごしている。又家族の面会時も、自室にてすごしてもらったり、また馴染みの物を置いたり、一人でも自由な時間を過ごせる様している。	0		
		85 外部評価 33	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	、個人の居室は馴染みの物や、本、写真、本人手づくり作品等飾り、心地よい空間作りが出来ている。又気が合う入居者同志、1つの居室に集まり話したり、歌ったり、楽しまれている姿も見受けられる。	1	入居者同志仲良く楽しむ空間大切に、今後もさらに取り組む。	
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	早朝は必ず全室窓開け換気している。Pトイレ設置居室に於いては消臭剤使用している。温度調節については、外気との差生じ無い様身体に負担が無い様はいりよしている。	0		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	1	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下に手すりを設置し、自立支援に基づき安全かつ出きるだけ自立した生活が送れるよう配慮し、危険因子を取り除き、残存能力を生かし安全で自立した生活出来る様努めている。	0		
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	入居者一人一人の理解力、記憶障害の程度も様々であるが、混乱や不安、不穏が最低限にとどまる様、声掛けや、関わりを工夫し、安心した生活を送れるよう努めている。	0		
		89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関先のウッドデッキに椅子を設置し、花を眺めたり、日光浴、会話を楽しむ事ができる。	1	気候がいい時はデッキにテーブル出し、お茶を楽しんでいる。今後もつづけていく。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	2		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	3		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	2	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。